

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

## 平成27年1月の「安らぎ通信」

阪神大震災の写真 オープンデータで提供

神戸市、1000枚公開



神戸市は、市が保有する阪神大震災の記録写真を二次利用しやすい形で公開する「オープンデータ」として提供し始めました。

震災発生直後の様子や復旧、復興の歩みを収めた約1000枚を公開。防災教育などに生かしてもらい狙いです。

(2014年12月10日 日本経済新聞記事から抜粋)

住民への周知不十分 — 土砂災害 避難場所や経路

自治体「知らせていない」危険箇所の26%



全国に約53万ある土砂災害危険箇所や警戒区域のうち、市町村が一度も避難場所や避難経路を住民に知らせていない場所が26%あることが、国土交通省の調査で分かりました。定期的に危険な場所の存在を住民に知らせたり、避難訓練などを実施したりしている割合も少ないようです。国交省は、危険箇所などの周知を徹底するよう各自治体に呼び掛けます。

(2014年12月13日 日本経済新聞記事から抜粋)



あなたに価値あるホームページを [yamachuwood.com](http://yamachuwood.com)

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 2

震度6弱以上 首都圏上昇 — 今後30年の発生確率

大地震の確率上昇 — 相模トラフ想定盛る

東京45%、横浜は78% 首都圏 複雑プレート考慮



政府の地震調査委員会は、全国各地で今後30年以内に震度6弱以上の大地震に見舞われる確率を示した2014年度版の全国地震動予測地図を発表しました。首都圏は前年に比べて確率が上がりました。

大阪45.4%、京都13.0%、神戸34.5%、大津16.1%、奈良48.6%、和歌山59.5%です。

(2014年12月20日 日本経済新聞記事から抜粋)

土砂災害4割発生 記録的大雨 発表の自治体 — 静岡大など



気象庁が「記録的短時間大雨情報」を発表した自治体の4割で、土砂災害が発生していたことが、名古屋地方気象台と静岡大防災総合センターの調査で明らかになりました。

(2014年12月24日 日本経済新聞記事から抜粋)



あなたに価値あるホームページを [yamachuwood.com](http://yamachuwood.com)

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 3

通信網、大災害に備え 被災者向けサービスも拡充

ドコモ 基地局に非常用電源 KDDI 免震ビルに拠点移転

スマホで伝言確認 避難所に公衆電話



災害時は被災地に電話が殺到するため、通信を制限することが多くあります。

そんな状況でも安否や避難先を確認できるように、通信各社は被災者向けのサービスを充実させます。

災害用伝言ダイヤル「171」は、掲示板のようにメッセージを打ち込める「災害用伝言板」も始まりました。スマートフォンなどでは、「災害用音声お届けサービス」もあります。

(2014年12月25日 日本経済新聞記事から抜粋)



あなたに価値あるホームページを [yamachuwood.com](http://yamachuwood.com)

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781